

■2024年度 事業報告

I. 2024 年度 日本イベント産業振興協会(JACE)を取り巻く概況

2024 年は、世界的な選挙イヤーとなり、日米を含む世界各国でトップや政権の交代が起こった。日本では、日米金利差等を背景に前年から続く円安も追い風となり、上場企業が過去最高益を更新し、日経平均株価がバブル期を超える水準に達した他、日銀が 17 年ぶりに利上げに踏み切るなど、デフレ脱却に向け大きな転換点を迎える年となった。

また、2019 年に大企業より順次適用が開始された「働き方改革関連法」が、2024 年 4 月より、建設業・自動車運転業・医師等の長時間労働が常態化している業種に対しても適用された。関連する業種では、人手不足や人件費増等の影響を受けて倒産件数は増加傾向にあり、より生産性の向上が求められている。

イベントを取り巻く世界に目を転じると、電通発表の 2024 年 1 月～12 月の日本の広告費は能登半島地震などの自然災害や物価高の継続などの逆風の中、インバウンド需要の高まりや好調な企業収益などに支えられ、過去最高の 7 兆 6,730 億円（前年比 104.9%）となり 3 年連続で過去最高を更新した。インターネット広告費は 3 兆 6,517 億円（前年比 109.6%）と大幅に伸長した一方、マスコミ 4 媒体広告費も 2 兆 3,363 億円（前年比 100.9%）と 3 年ぶりに前年越えとなった。

JACE の調査研究活動である「イベント産業規模推計」において、2024 年のイベント産業は、イベント関連産業（広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業などイベントを売上げの一部としている業種・業態）の産業規模は 9,797 億円（前年比 107.2%）、さらにイベント周辺産業（音楽コンサート、演芸・スポーツ興行など 娯楽・エンタメ産業）までも含めた規模も 2 兆 8,535 億円（前年比 108.3%）と大きく伸長し、2019 年と比較するとイベント関連産業で 102.1%、全体で 109.2%となり、ついにコロナ前を上回った。コロナの影響をもっとも受けた 2020 年と比べると、イベント関連産業で 2.6 倍、全体でも 2.4 倍と倍以上となっている。

一方、イベントカテゴリー毎の来場者の消費額を調査している「イベント消費規模推計」においては、イベントの全体消費規模金額は 16 兆 7,665 億円（前年比 99.2%）とわずかに前年を下回った。カテゴリー別では、消費規模の大きい順に、興行イベント 6 兆 8,209 億円（前年比 102.2%）、フェスティバル 2 兆 4,953 億円（前年比 107.7%）、文化イベント 2 兆 4,033 億円（前年比 92.5%）、スポーツイベント 2 兆 1,535 億円（前年比 94.2%）、会議イベント 1 兆 3,990 億円（前年比 93.7%）、見本市・展示会 8,388 億円（前年比 95.3%）、販促イベント 6,288 億円（前年比 102.4%）となっている。コロナ前の 2019 年と比べると、販促イベント 117.4%、興行イベント 111.5%とすでに大きく上回った。

一回のイベントに対する来場者消費額は、27,164 円（前年比 101.0%）と微増に留まった一方、オンラインイベントでの支出額は 3,633 円（前年比 107.8%）となり少し回復した。

リアルイベントの参加割合は、今回もフェスティバルが最多で、興行イベント、文化イベントがこれに続き、オンラインイベントの参加割合も、会議イベントが最多で、興行イベントが続いている。

参加回数を見ると、リアルでは昨年と大きな動きはないが、オンラインでは、興行イベントが4.46回→3.09回と昨年より大きく減少した。

2025年は大阪・関西万博を筆頭に、東京世界陸上など大規模イベントが数多く開催され、イベント業界はますます活況を呈することは間違いない。また大型テーマパークのオープンや、引き続きインバウンドの拡大等、好材料が数多くある一方、物価高の長期化による消費マインドの悪化、深刻な人手不足や物流コストの増加などによる供給制約、アメリカの関税政策の行方、国際情勢の緊迫化など、懸念点も少なくない。JACEは、イベント業界を取り巻く様々な変化の中、会員個社での対応が難しい課題、具体的には、イベント業界におけるサステナビリティの推進、業界の未来を担う人材の発掘と育成といったテーマに対し、会員社はもとより、業界関連団体、行政、主催者、イベント会場等との連携を図りつつ解決策を求め、結果的にイベント業界全体がより魅力ある存在となるよう努めていく。

II. 2024 年度事業活動報告

2-1 総会及び理事会

2-1-1 総会

総会は、定款第20条の規程にもとづき石井直代表理事が社員全員に対して社員総会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、全会員社から書面による同意の意思表示を得て以下の通り開催し、当該議案の決議が成立した。

●第21回定時総会

日時 2024年6月14日

場所 虎ノ門ヒルズ森タワー 5階「虎の門ヒルズフォーラムホールA」

構成員現在数68名、出席構成員数68名（内委任状による代理人出席5名、議長委任28名）

【議題および報告事項】

議題1. 2023年度決算報告書 承認の件《第1号議案》

議題2. 理事選任（案）承認の件《第2号議案》

●第22回臨時総会

日時 2024年11月8日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題1. 理事選任案 承認の件《第1号議案》

●第 23 回臨時総会

日時 2025 年 2 月 17 日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題 1. 理事選任案 承認の件

●第 56 回理事会（書面決議）

日時 2024 年 5 月 30 日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題 1. 2023 年度 決算諸表 承認の件《第 1 号議案》

●第 57 回理事会

日時 2024 年 6 月 14 日

場所 虎ノ門ヒルズ森タワー 5 階「虎の門ヒルズフォーラムホール A」

参加人数 理事出席数 18 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

議題 1. 新規入会正会員 承認の件《第 1 号議案》

●第 58 回理事会

日時 2024 年 10 月 24 日

場所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3F「華の間」

参加人数 理事出席数 19 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

議題 1. 2024 年度 上期業務執行状況と今後の活動について

議題 2. 新規入会正会員 承認の件《第 1 号議案》

<特別報告>

1. 「使いやすいサステナビリティガイドブック」完成

2. 新版イベント業務管理士公式テキスト完成

●第 59 回理事会

日時 2025 年 1 月 29 日

場所 第一ホテル東京 21F「ルミエール」

参加人数 理事出席数 19 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 1 名

【議題および報告事項】

- 議題 1. 2024 年度 下期業務執行状況の報告
議題 2. 新規入会正会員 承認の件《第 1 号議案》
議題 3. 臨時総会開催 承認の件《第 2 号議案》

●第 60 回理事会

日時 2025 年 3 月 25 日
場所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3F「光の間」
参加人数 理事出席数 16 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

- 議題 1. 2024 年度 活動総括および事業運営について
議題 2. 2024 年度 決算見込みについて
議題 3. 今後の主なスケジュール
議題 4. 2025 年度 事業計画・収支予算（案）承認の件《第 1 号議案》
議題 5. 正会員新規入会 承認の件 《第 2 号議案》
議題 6. 2025 年度「第 24 回定時総会」開催 承認の件《第 3 号議案》

2-2 会員事業及び協会運営

2-2-1 会員事業

今年度も正会員法人からの出向者を中心とした運営体制を継続し、正会員の参画による委員会・部会の活動はオンライン化も含めて実施した。

また、新規会員社を増やすために、ひきつづき加入依頼のアプローチを実施。

正会員 71 法人（5 法人増、2 法人減）、準会員 1 法人、賛助会員 23 法人。計 95 法人に増加。

【新規正会員 5 法人（2025 年 3 月 31 日現在）】

(株)第一広房 T O K Y O、(株)スコープ、(株)テルミック、(株)アプレット、(株)ティー・ツー・クリエイティブ

2-2-2 協会運営（正会員社の参画による委員会等の活動）

① 総務委員会

役 割	氏 名	会員社名	部署名／役職名（2024 年 4 月 1 日時点）
委員長	舩森 丈人	(株)テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長
副委員長	田口 政幸	(株)ムラヤマ	スペース・ソリューション事業本部 本部長
委 員	田所 義教	(株)ADKクリエイティブ・ワン	総合プロデュース第 3 本部 本部長
委 員	佐々木 淳	(株)ジェイアール東日本企画	企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロモーション局 次長
委 員	塩谷 貴行	(株)J T B	ビジネスソリューション事業本部 事業推進

			チーム 事業推進担当マネージャー
委 員	松田 英彦	(株)セレスポ	取締役 事業本部副本部長
委 員	渡邊 純次	大日本印刷(株)	ソーシャルコミュニケーション本部 統合空間開発第2部 部長
委 員	稲場 幸家	(株)丹青社	文化・交流空間事業部 副事業部長
委 員	石阪 太郎	(株)電通ライブ	執行役員
委 員	高橋 武久	(株)東急エージェンシー	マーケティングDX本部 アクティベーションデザイン局 局長
委 員	佐藤 秀樹	(株)乃村工藝社	執行役員 営業推進本部 第4事業部 事業部長
委 員	長田 芳曉	(株)博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
委 員	塩川 学	(株)マッシュ	執行役員

* JACE事務局担当：大木、尼子

協会の運営を円滑に進行する実施機関として5回開催

●第1回 2024年5月24日【リアル】

●第2回 2024年6月10日【リアル】

●第3回 2024年10月22日【リアル】

●第4回 2025年1月22日【リアル】

●第5回 2025年3月11日【リアル】

□ 活動状況 1. 理事会開催前に事務局活動報告を確認、意見交換

2. 新規会員社獲得プロジェクトの推進

3. 委員交代時 新メンバー紹介等

② 人材育成委員会

役 割	氏 名	会社名	部署名／役職名（2024年4月1日時点）
委員長	長田 芳曉	(株)博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
副委員長	小坂井 彰	五大陸(株)	代表取締役
委 員	間藤 芳樹	(株)マッシュ	代表取締役
委 員	内山 早苗	(株)UDジャパン	代表取締役
委 員	内宮 真一	(株)スポーツマネージメント	代表取締役社長
委 員	酒井 基喜	(株)マッシュ	執行役員 業務管理東京支店担当
委 員	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
委 員	綿木 啓了	(株)ディー・エヌ・エー	万博プロジェクト室長
委 員	磯部 陽一	(株)レイ	取締役

* J A C E事務局担当：高田、石山

資格・検定制度の価値向上および運営を円滑に進行するため7回開催

●第1回 2024年5月15日【オンライン】

●第2回 2024年6月19日【オンライン】

●第3回 2024年7月17日【オンライン】

●第4回 2024年9月25日【オンライン】

●第5回 2024年12月4日【オンライン】

●第6回 2025年1月15日【オンライン】

●第7回 2025年3月6日【リアル】

※その他イベントテキスト制作委員会開催

- 活動状況
1. 資格価値向上に向けた施策立案、実施
 2. 受験者増に向けた施策立案、実施
(会員や賛助会員への協力、認定校拡大、広報活動など)
 3. 「イベント業務管理士公式テキスト」全面改訂
 4. 2024年度資格・検定運営、1級試験システムの改善
 5. 試験対策セミナー企画・運営
 6. 新版テキストを用いた試験問題作成
 7. 業務管理士データベースの新構築

③ アワード部会

役 割	氏 名	会社名	部署名／役職名（2024年4月1日時点）
部会長	石阪 太郎	(株)電通ライブ	執行役員
アドバイザー	宮本 倫明	(株)L a n d a	代表取締役
メンバー	田所 義教	(株)ADKクリエイティブ・ワ ン	総合プロデュース第3本部 本部長
メンバー	佐々木 淳	(株)ジェイアール東日本企画	企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロ モーション局 次長
メンバー	塩谷 貴行	(株)J T B	ビジネスソリューション事業本部 事業推進 チーム 事業推進担当マネージャー
メンバー	原田 伸介	(株)新東通信	クリエイティブ本部 J P M事業グループ グループ長
メンバー	松田 英彦	(株)セレスポ	取締役 事業本部副本部長
メンバー	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
メンバー	渡邊 純次	大日本印刷(株)	ソーシャルコミュニケーション本部 統合空間開発第2部 部長
メンバー	稲場 幸家	(株)丹青社	文化・交流空間事業部 副事業部長
メンバー	舩森 丈人	(株)テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長

メンバー	高橋 武久	(株)東急エージェンシー	マーケティングDX本部 アクティベーションデザイン局 局長
メンバー	鎌田 浩史	(株)TOPPAN	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーションセンター 企画開発本部 本部長
メンバー	小坂井 彰	日本イベント業務管理士協会 (JEDIS)	副会長
メンバー	佐藤 秀樹	(株)乃村工藝社	執行役員 営業推進本部 第四事業部 事業部長
メンバー	長田 芳曉	(株)博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
メンバー	間藤 寛太	(株)マッシュ	コミュニケーションデザイン室長
メンバー	田口 政幸	(株)ムラヤマ	スペースプロモーション事業本部 本部長
メンバー	内山 早苗	(株)UDジャパン	代表取締役会長
メンバー	中村 久	(株)ノムラメディアス	管理統括部 統括部長
メンバー	和田 怜	(株)ジャプロ	代表取締役
メンバー	川本 達人	(株)グローバルプロデュース	執行役員 CPO チーフプランニングオフィサー

* JACE事務局担当：尼子、中島、沖

イベントアワード運営を円滑に進行するためWGを含め5回開催

- 第1回 2024年8月9日【ハイブリッド】
- 第2回 2024年9月27日【オンライン】
- 第3回 2024年12月26日【ハイブリッド】

【ワーキンググループ】

- 第1回 2024年8月27日【オンライン】
- 第2回 2024年10月11日【オンライン】

【第1次選考会】

- 2025年3月26日【ハイブリッド】

☐ 活動状況 ・作品応募のお願い

- ・エントリーシート
- ・採点方法の見直しについて
- ・選考委員について検討
- ・PR施策について

④ サステナビリティ委員会

役 割	氏 名	会社名	部署名／役職名（2024 年 4 月 1 日時点）
委員長	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
副委員長	羽山 寛幸	(株)昭栄美術	専務取締役
副委員長	松本 秀之	(株)フロンティア インターナショナル	第 3 営業本部 本部長
委 員	板山 智昭	コーユーレンティア(株)	イベント営業本部 係長
委 員	永門 優作	(株)ジールアソシエイツ	取締役 常務執行役員
委 員	石毛 照栄	(株)JTB コミュニケー ションデザイン	総合企画部 サステナビリティ推進局 リーダー
委 員	福傳 弘二	TSP 太陽(株)	制作本部 施工監理部 部長
委 員	竹嶋 理恵	(株)電通	サステナビリティコンサルティング室 チーフ・コ ミュニケーション・ディレクター
委 員	大高 良和	(株)電通ライブ	ソリューションユニット ユニット長補
委 員	森下 慎一	(株)東急エージェンシー	マーケティングDX本部 アクティベーションデザ イン部 第1アクティベーション部 部長
委 員	松本 洋伸	(株)TOPPAN	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャル イノベーションセンター ソーシャルプランニング 第2部2Tチームリーダー 兼 博覧会事業推進室 開発部チームリーダー
委 員	松原 努	日本コンベンション サービス(株)	営業・マーケティング戦略部 グローバル・ゴール 推進リーダー
委 員	宮坂 清佳	(株)乃村工芸社	クリエイティブ本部 未来創造研究所 サステナブルデザインラボ 主任
委 員	白川 陽一	(株)博展	サステナブル・ブランド事業部長 兼 サステナビ リティ推進部長

* JACE 事務局担当：尼子、大木、中島

イベント業界のサステナビリティ化推進のため 6 回開催

●第 1 回 2024 年 5 月 13 日【ハイブリッド】

●第 2 回 2024 年 7 月 8 日【ハイブリッド】

●第 3 回 2024 年 8 月 26 日【ハイブリッド】

●第 4 回 2024 年 11 月 18 日【リアル】

●第 5 回 2025 年 1 月 27 日【ハイブリッド】

●第 6 回 2025 年 3 月 17 日【ハイブリッド】

□ 活動状況 1. 取り組む視点、活動の方向性、具体的な活動案について検討

2. 会員社向けアンケート調査の企画・実施・考察

3. 会員社啓発目的のウェビナーを企画・実施

4. 「使いやすいサステナビリティガイドブック」制作への協力

5. ISO20121 改訂作業への協力

6. イベント業界標準カーボン・カリキュレーター策定への協力

7. 若手交流会とのジョイント企画の推進

⑤ 交流部会

役割	氏 名	会社名	部署名／役職名（2024 年 4 月 1 日時点）
部会長	松崎 満	(株)小林工芸社	取締役 第 1 アカウント部 ディレクター
メンバー	鈴木 美津子	(株)エクシードコネクト	代表取締役
メンバー	石橋 計	(株)クラフティ	営業本部 東日本ブロック 統括部長
メンバー	本間 澄江	(株)サピエント	東京本社 上席執行役員
メンバー	永門 優作	(株)ジールアソシエイツ	取締役 常務執行役員
メンバー	梅沢 和孝	(株)ディー・エヌ・エー	執行役員 プロモーション 1 部 部長
メンバー	池本 竜	P R G(株)	営業部 ディレクター／部長
メンバー	木白 豊	(株)レンタルのニッケン	営業企画部 イベントチーム チームリーダー
メンバー	中原 康哉	(株)ワールドカラー	取締役 事業統括本部

* J A C E 事務局担当：大木、尼子

J A C E 会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化のため 6 回開催

●第 1 回 2024 年 4 月 11 日【リアル】

●第 2 回 2024 年 6 月 5 日【リアル】

●第 3 回 2024 年 8 月 7 日【リアル】

●第 4 回 2024 年 8 月 21 日【リアル】

●第 5 回 2025 年 2 月 5 日【リアル】

●第 6 回 2025 年 3 月 27 日【リアル】

※その他分科会多数開催

□ 活動状況 1. J A C E 会員間の交流企画・実施

2. 若手交流会の指導・サポート

2-3 人材育成事業

オンライン試験（C B T 方式）も軌道に乗り受験者は増加傾向にある。

2-3-1 資格事業 イベント業務管理士 1 級・2 級

① イベント業務管理士 1 級試験

2 級登録者を対象とした 1 級試験は、2025 年 1 月 17～2 月 2 日の 17 日間実施した。受験者数は 64 名（前年比 107%）、合格者は 37 名（同 285%）で合格率 58%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2022 年	51	19	37%
2023 年	60	13	22%

2024 年	64	37	58%
--------	----	----	-----

② イベント業務管理士 2 級試験

例年どおり、2024 年 7、11 月に実施した。前期試験は 2024 年 7 月 1～31 日、後期試験は 2024 年 11 月 1～30 日に実施した。受験者数は 324 名（前年比 116%）、合格者は 203 名（同 113%）で合格率 63%であった。昨年を大きく上回る受験者数となった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2022 年	222	150	68%
2023 年	280	180	64%
2024 年	324	203	63%

③ イベント業務管理士 1 級・2 級新規登録・資格更新

新規登録

今年度の新規登録対象者は、1 級 37 名、2 級 203 名、合計 240 名で、それぞれ 36 名（登録率 97%）、187 名（同 92%）の合計 223 名が登録した。

※登録料は、1 級 13,000 円、2 級 10,000 円

年度	1 級新規登録者数	登録率	2 級新規登録者数	登録率
2022 年	43	98%	144	95%
2023 年	13	100%	176	98%
2024 年	36	97%	187	92%

資格更新

イベント業務管理士は、3 年ごとに更新手続きを実施している。

今年度の 1 級資格更新対象者は 289 名で、256 名（更新率 89%）が更新手続きを行った。2 級資格更新対象者は 223 名で、123 名（同 55%）が更新手続きを行った。

※登録更新料は、1 級 13,000 円、2 級 10,000 円

年度	1 級更新者数	更新率	2 級更新者数	更新率
2022 年	521	84%	168	63%
2023 年	417	81%	181	52%
2024 年	256	89%	123	55%

2-3-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの 3 検定は、例年どおり、2024 年 7、11 月に実施した。前期試験は 2024 年 7 月 1～31 日、後期試験は 2024 年 11 月 1～30 日。

① イベント検定

一般会場受験 278 名（前年比 125%）、賛助校は 23 校から 470 名（同 205%）、合計 748 名（同 112%）が受験し、469 名（同 105%）が合格した。合格率 63%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2022 年	683	567	83%
2023 年	665	445	67%
2024 年	748	469	63%

② スポーツイベント検定

一般会場受験 88 名（前年比 128%）、賛助校は 16 校から 229 名（同 151%）、合計 317 名（同 143%）が受験し、129 名（同 93%）が合格した。合格率 41%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2022 年	253	108	43%
2023 年	221	139	63%
2024 年	317	129	41%

③ ユニバーサルイベント検定

49 名（前年比 109%）が受験し、42 名（同 111%）が合格した。合格率 86%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2022 年	38	34	89%
2023 年	45	38	84%
2024 年	49	42	86%

2-3-3 教育（セミナー）事業

試験対策セミナー受講者数は、「イベント業務管理士 1 級」は 49 名（前年比 126%）、「イベント業務管理士 2 級」は 88 名（同 157%）、「イベント検定」73 名（同 143%）、「スポーツイベント検定」26 名（同 113%）、「ユニバーサルイベント検定」14 名（同 117%）。

※受講料は、1 級・2 級各 25,000 円（会員 22,500 円）、3 検定各 7,000 円（会員 6,300 円）

年度	イベント業務 管理士 1 級	イベント業務 管理士 2 級	イベント 検定	スポーツ イベント検定	ユニバーサル イベント検定
2022 年	39	54	59	21	20
2023 年	39	56	51	23	12
2024 年	49	88	73	26	14

2-3-4 その他施策

① 「2024 年度 J A C E イベント資格・検定」の経済産業省後援事業認証

JACEの4つの資格・検定に対し、経済産業省後援事業として認証を継続。2025年度以降も継続して使用申請を行う。

② イベント業務管理士公式テキスト全面改訂

現行テキストが発刊されてから5年以上が経過し、その間社会や経済動向が大きく変化。サステナブルや多様性の理解、合理的配慮といったことをイベント業務全般に包含させていく必要性を感じ、テキスト改訂に着手。「新版イベント業務管理士公式テキスト」として2025年4月に発刊した。

③ イベント検定公式テキスト全面改訂作業着手

2025年4月に発刊された「新版イベント業務管理士公式テキスト」の内容を踏まえ、イベント検定テキストの改訂作業に着手。構成を整えつつ、学生にとってわかりやすいテキストを念頭に改訂作業を進行中。2025年秋頃の完成を目指し、テキストを授業内で活用いただいている賛助校に対し説明会等を開催し、来年度のカリキュラムに支障がないように対応していく。発刊は2026年4月を予定。

2-4 調査研究事業

2-4-1 イベント産業規模推計

2024年6月に発表した、2023年のイベント関連産業（※1）の産業規模は9,142億円（前年比135.3%）。周辺産業（※2）まで含めた規模は2兆6,337億円（同126.6%）となり、新型コロナウイルス流行前の2019年と比べ、それぞれ95.3%、103.9%と、ほぼ同じ水準まで回復した。

※1 イベント関連産業 広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業等、イベントを売上げの一部としている業種・業態

※2 イベント周辺産業 音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など娯楽・エンタメ産業等

2-4-2 イベント消費規模推計

2024年6月に発表した、2023年イベント消費規模推計において、イベント全体の消費規模は16兆8,983億円（前年比113.5%）と前年を大きく上回り、コロナ前の2019年と比べても96.6%と、ほぼ同水準に戻った。一回のイベントに対する来場者消費額は、26,886円（同102.1%）と微増に留まった一方、オンラインイベントの支出額は3,369円（同62.2%）と引き続き減少した。

イベントに対する意識については、「イベントで外国人をよく見る」がスコアを伸ばし、「イベントは震災復興に役立つ手段のひとつである」もやや増加。「多くの人が集まるイベントには

行きたくない」は4割台に減少し、イベントへの参加意欲が高まっていることが伺える結果となった。

2-5 普及啓発事業

2-5-1 JACE イベントアワード

今年度の「第10回JACEイベントアワード」(後援:経済産業省)も昨年に引き続き、イベント主催者の性格ごとに「①企業・業界団体」「②政府・自治体・公共団体」「③学生・NPO・各種団体・個人」の3部門に分類し募集を行った。またイベントの多様化の進展に鑑み、選考委員の見直しを行った結果、新たに、東ちづるさん、加藤直人さん、平原依文さんといった各分野のスペシャリストが選考委員に加わった。応募数も自薦他薦合わせ合計191作品となり過去最大となった。2024年6月14日に虎ノ門ヒルズフォーラムメインホールにて表彰式を開催した。

<最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)>

・柏の葉イノベーションフェス -TALKING CITY- 三井不動産

<イベントプロフェッショナル賞>

・サンゴショーウィンドウ 海遊館

<企業・業界団体部門>

ゴールド賞 柏の葉イノベーションフェス -TALKING CITY-

シルバー賞 TVアニメ放送完結記念『進撃の巨人』ワールドワイド・アフターパーティー

ブロンズ賞 サンゴショーウィンドウ

<政府・自治体・公的団体部門>

ゴールド賞 東京2025デフリンピックまであと2年!「みるカフェ」

シルバー賞 Jeddah Events Calendar 2023 - Anime Village at City Walk

ブロンズ賞 現代版組踊「肝高の阿麻和利」東京公演

<学生・NPO・各種団体・個人部門>

ゴールド賞 世界ALSデー in NAGOYA みんなでゴロンしよう!

シルバー賞 第10回 新千歳空港国際アニメーション映画祭

ブロンズ賞 空海が見つけた見附島II

「第11回JACEイベントアワード」も主催者別に3部門で応募する仕組みを継続し、選考委員についても同じメンバーで継続。選考を明快にするため、エントリーシート及び採点表の見直しを実施。

- ・選考委員（敬称略）：中村利雄（委員長）、経産省文化創造産業課、東ちづる、加藤直人
蜷川有紀、平原依文、古田秘馬、宮本倫明
- ・表彰式（於：虎ノ門ヒルズフォーラムメインホール）：2025年6月18日
- ・作品応募総数：155作品（自薦93作品、他薦62作品）

2-5-2 サステナビリティ委員会

① 会員社へのサステナビリティに関するアンケート調査実施

3年連続で会員社向けアンケート（インターネットによる会員各社のサステナビリティへの取組に関する実態把握調査）を実施、正会員社42社から回答を頂き、経年での変化を把握。

② カーボンカリキュレーター制作ワーキンググループ立ち上げ

イベント業界全体で活用できるカーボンカリキュレーターの作成を目的に2024年8月に発足。完成後はオープンに活用できる仕組みとしてイベント業界全体の標準化を目指す。

サステナブルイベント協議会が母体となり、JACEサステナビリティ委員会のメンバーもジョイントして、2025年の早い段階での完成を目標とする。

③ サステナビリティ委員会と交流部会のジョイント企画について

「若手がサステナビリティについて取り組む機会を作る」という目的を実現するためプロジェクトを発足。サステナビリティ委員会より4名、若手交流会より11名の計15名が参加。3回の勉強会の後、議論を重ねた結果、使いやすいサステナビリティガイドブックを博展主催のサステナブル・ブランド国際会議（SB会議）に即して使用し、HPで報告。

2-5-3 JACE WEBINARの配信

JACE委員会横断の全体施策として「JACE WEBINAR」を会員社やイベント業務管理士に向けて合計4回配信。延べ550名を超える方が視聴した。

● 第1回 2024年8月1日

① 国内最先端HYBRID EVENT SPACEのご紹介

スピーカー：グローバルプロデュース 代表取締役社長 光畑真樹氏

② MICEで活用できる先端テクノロジーのご紹介

スピーカー：東京観光財団 曾根豊太氏

登録者人数：235名

● 第2回 2024年10月4日

第10回 JACE イベントアワード受賞作品のご紹介

① 最優秀賞（経済産業大臣賞）

スピーカー：三井不動産 柏の葉街づくり推進部 金田昂氏

② イベントプロフェッショナル賞

スピーカー：博報堂 関西支社MDB推進局 宮原広志氏

登録者人数：91名

● 第3回 2025年1月15日

① 大阪・関西万博を契機としたイベントMICEサステナビリティ普及に向けて

スピーカー：2025大阪・関西万博会場運営プロデューサー 石川勝氏

② すぐに使える！「使いやすいサステナビリティガイドブック」の活用方法

スピーカー：セレスポ 執行役員 越川延明氏

登録者人数：163名

● 第4回 2025年3月24日

「Learning by doing」共に学ぶサステナビリティ×イベントの未来

スピーカー：電通ライブ

大高良和氏

丹青社

山中怜奈氏

博報堂プロダクツ

ボンド雅ミシェル氏

乃村工藝社

後藤慶久氏

登録者人数：182名

2-5-4 交流部会

JACE会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化、若手交流会の指導・サポートを実施した。

① JACEプレゼンテーション研修の実施

2024年11月7日、リアルコミュニケーションの機会が戻ってきた今、自身の話し方や相手に与える印象などを見直すきっかけとするため、「いまさら聞けないプレゼンテーションの極意を学ぶ」研修を実施。相手に与える印象や自分の癖を知る、発声、姿勢、所作、表現技術、言葉選びなどを学んだ。

<参加社>

エクシードコネクト、クラフティ、小林工芸社、サピエント、昭栄美術、TOPPAN、ノムラメディアス、ワールドカラー

② JACE視察ツアーの実施

日時 2024年11月21～22日

視察先 KUBOTA AGRI FRONT、北海道ボールパーク

【KUBOTA AGRI FRONT】

未来の農業や食のサステナビリティを没入型シアターで解説。テック農業など最新の施設を見学した。

【北海道ボールパーク】

施設としての最新設備を見学し、特別講演では非試合日の季節に合わせた独自のイベント企画・実施事例とその効果、今後の計画など、北海道地域のシンボルとして新たな産業集積・起業促進、消費・雇用拡大など地域の持続的成長を担う街づくりの将来像を聴いた。

<参加社>

エクシードコネクト、サピエント、丹青社、マッシュ、レンタルのニッケン、ワールドカラー

③ 若手交流会「JACE FUTURE LAB (JFL)」：顔合わせ懇親会の開催

2024年8月7日、交流部会の運営のもと会を進行。グループディスカッションでは「今年度JFLの取り組み」をテーマに、ディスカッションを行った結果『職業病ツアー』が採用され、若手交流会メンバーによる「ワーナーブラザーススタジオツアー東京-メイキング・オブ・ハリー・ポッター」への視察が決定した。

<参加社>

エクシードコネクト、大阪共立、クラフティ、グローバルプロデュース、小林工芸社、近畿日本ツーリスト、JTB、JTBコミュニケーションデザイン、ジャパングレーライン、新東通信、セレスポ、大広、大日本印刷、丹青社、テー・オー・ダブリュー、電通ライブ、ドゥ・クリエーション、TOPPAN、乃村工芸社、ノムラメディアス、メトロアドエージェンシー、レイ、レンタルのニッケン

④ 若手交流会「JFL」：第1回職業病ツアー※の実施

2024年12月12日、「第1回職業病ツアー」を実施した。事前セミナーで説明を受けた上で視察を実施したことにより、理解や発見が深まる企画となった。

- ・施設制作担当者による事前セミナーを2024年12月3日に実施
セミナー解説：電通ライブ（施設）、乃村工芸社（駅）
- ・最新展示施設のグループ視察
- ・視察を通じて感じた『職業病』を懇親会で共有

※職業病ツアーとは

イベント業界のプロとして施設等を視察し、「この演出いいな！」「この造作の作り面白いい！」と思ったこと（職業病）をJFLの場で共有し、交流を図る企画。

<参加社>

エクシードコネクト、クラフティ、小林工芸社、セレスポ、昭栄美術、ジールアソシエイツ、JTBコミュニケーションデザイン、電通ライブ、ムラヤマ、レンタルのニッケン

⑤ 若手交流会「JFL」：第2回職業病ツアーの実施

2025年3月21日、「第2回職業病ツアー」を実施した。今回も事前セミナー実施後に視察を実施したことにより、理解や発見が深まる企画となった。

- ・施設ツアー企画担当者による事前セミナーを2025年3月18日に実施
セミナー解説：電通ライブ
- ・国立競技場のグループ視察
- ・ウォーミングアップエリアにてモルック交流会
- ・視察を通じて感じた『職業病』を懇親会で共有

<参加社>

小林工芸社、近畿日本ツーリスト、JTBコミュニケーションデザイン、セレスポ、電通ライブ、ノムラメディアス、マッシュ、ムラヤマ、レンタルのニッケン

⑥ 若手交流会「JFL」：サステナビリティ委員会との合同企画の実施

「使いやすいサステナビリティガイドブック」の使い方について勉強会を実施した上で、サステナブルな取り組みを実施しているイベントを視察する企画。2025年3月18日、「SB会議」を視察。事前勉強会を実施したことによりガイドブックの活用方法やイベントにおけるサステナブルな取り組みポイントの理解が深まる機会となった

- ・JACEサステナビリティ委員会による事前勉強会 計3回実施
勉強会講師：セレスポ、日本コンベンションサービス、博展
- ・SB会議の視察
- ・視察レポートをJACEコーポレートサイトで発表

<参加社>

クラフティ、グローバルプロデュース、JTB、テー・オー・ダブリュー

⑦ 若手交流会「JFL」：MICE4団体合同交流会への参加

2024年8月6日、MICE／イベント産業に従事する会員事業者を対象に、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を通じた合同交流会「モルック大会」を開催。他社・他団体・他業種のメンバーで混合チームを組み、モルックをはじめ、「仕事における悩みや課題」をテーマにしたグループディスカッションや懇親会を合計72名の参加で実施した。

2-5-5 JACE懇親ゴルフコンペ開催

2024年7月23日、懇親ゴルフコンペを開催。千葉県ロッテ皆吉台カントリークラブにて、42名が参加。

2-5-6 その他（賀詞交歓会等）

2024年6月14日に虎ノ門ヒルズフォーラムにて定時総会後の懇親パーティーをJACEイベントアワードの受賞パーティーと合わせて実施。

また、2025年1月29日に賀詞交歓会を昨年引き続き第一ホテル東京にて実施した。

両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を行った。

2-5-7 他団体との交流活動

① 経済産業省との交流

●イベント産業規模推計およびイベント消費規模推計の報告

・2024年5月27日 イベント産業規模推計報告書

・2024年8月30日 イベント消費規模推計報告書

商務・サービスグループ文化創造産業課チームメンバーに対して、報告書説明および意見交換を実施。

② イベント関連団体との交流

●イベント学会

・2024年6月18日 定時総会および理事会

・2024年12月13～14日 第27回イベント学会研究大会 中部地域大会

・2025年3月8日 東日本地域本部オープンラボVol.1

●展示会関連団体連絡会（経済産業省・JETRO・日本展示会協会・日本電機工業会）

・2024年4月18日 「JETROにおける海外展開支援と米国での販路開拓について」解説

・2024年7月4日 「展示会企画運営ガイドブックセミナー」

・2024年7月5日 定例報告 各機関・団体からの報告・情報共有

・2024年8月21日 「UFI Global Barometer に見る世界の展示会の超勢」

・2024年11月14日 「使いやすいサステナビリティガイドブック」解説

・2024年12月20日 「展示会ビジネスに役立つATAカルネに関して」解説

・2025年2月21日 京セラ稲盛ミュージアム視察

「統合諸表から見る、イベント・スペースの新しい価値づくり」解説

③ 広告関係団体連絡会（JACE含む24団体）との交流

● 広告関係団体連絡会

- ・ 2024年6月25日 連絡会@電通銀座ビル会議室、懇親会@天厨菜館 銀座店
- ・ 2024年9月30日 オンライン開催
- ・ 2024年12月11日 連絡会@JAA会議室、懇親会@ホテルモントレ銀座
- ・ 2025年1月8日 広告界合同年賀会@帝国ホテル
- ・ 2025年3月12日 オンライン開催

④ その他交流

●（公財）東京観光財団「令和6年度東京都MICE連携推進協議会」への参画

東京観光財団が中心となり、MICE誘致に向けて関係主体の連携を促進するための官民一体の協議会に継続参画。7年連続のJACEへの協力要請で、津川専務理事へ委員委嘱。観光庁、日本政府観光局（JNTO）、東京都、東京商工会議所、業界団体、大学などが参加。

【MICE連携推進協議会】

- ・ 第1回 2024年6月24日
- ・ 第2回 2025年3月5日

【サステナビリティ部会】

サステナビリティ課題を検討するための部会津川専務理事が部会長として推進。

- ・ 第1回 2024年7月12日
- ・ 第2回 2025年2月6日

【サステナブルMICEショーケース】

赤坂インターシティコンファレンスで海外事例講演、日本のサステナブル事情のパネルディスカッション、サステナブルに関する製品やサービス展示を視察、部会でそのテーマについて議論。

- ・ 第1回 2024年12月17日

【東京都次世代型MICE推進協議会】

「TOKYO MICE テクノロジー導入ガイドライン」2025年版に向けた新しいテクノロジーの補助金制度に公募した次世代テクノロジーの審査に参加。

- ・ 第1回 2024年5月21日
- ・ 第2回 2024年8月28日
- ・ 第3回 2024年10月7日
- ・ 第4回 2024年11月12日
- ・ 第5回 2025年3月14日

●一般財団法人札幌産業流通振興協会（JACE賛助会員）

・2024年6月25日 札幌産業流通振興協会評議委員会

●「広告のミライ」プロジェクト

各団体からは人材の確保が難しくなっていること、広告業界への魅力が著しく低下していることなどが課題となっていることを鑑み、2019年に日本広告業協会（JAAA）、全日本広告連盟、日本広告審査機構（JARO）およびACCの4団体が、広告業界の魅力発信を目的にスタートしたプロジェクトに、広団連23団体から賛同する団体を募り、新たに6団体を加えてリスタートした。新卒採用はもちろんのこと、中途採用を含めた人材確保のための施策に向け、学生データベースに強みを持つ宣伝会議との協業を模索中。2025年7月サイトアップを目指す。

初年度はプロジェクトに参加している10団体で展開し、JICDAQを加えた広団連24団体に広げていく予定。

【参加団体】

日本広告業協会、全日本広告連盟、日本広告審査機構、ACC、日本アドバタイザーズ協会（JAA）、日本新聞協会、日本インタラクティブ広告協会（JIA）、日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）、日本民間放送連盟、JACE

⑤ 名義申請等

● 後援名義

- ・「イベントランド北海道2024」：2024年4月16～17日@アクセスサッポロ
- ・「2024 ワールドトライアスロンシリーズ・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」：2024年5月11～12日
- ・「第八回全国高校生花いけバトル香川大会」：2024年8月17日@ユーブラザうたづハーモニーホール
- ・「BACK STAGE ～ SHOWCASE 3.0 ～」：2024年8月29日@虎ノ門ヒルズフォーラム
- ・東京ディスプレイ協同組合 創立60周年記念事業「超文化祭」：2024年9月27～28日@東京ミッドタウン日比谷
- ・「北海道ワンヘルスフェア」：2024年10月18～20日@アクセスサッポロ大展示場
- ・「国際MICEエキスポ（IME2025）」：2025年2月13日@東京国際フォーラム
- ・「イベントランド北海道2025」：2025年4月16～17日@アクセスサッポロ

● 特別協賛名義

- ・「イベント安全対策シンポジウム」：2025年2月18日@ポートメッセなごや

- 協賛名義

- ・「JAPAN SHOP 2025」: 2025 年 3 月 4~7 日@東京ビッグサイト

- 協力名義

- ・ J E V A イベントリスクマネジャー養成セミナー<全 5 回>
- ・ 大阪・関西万博TEAM EXPO共創チャレンジ事業
「いのちをつなぐ水と流域 地球市民対話プロジェクト」
- ・ 愛知万博 20 周年記念事業連携企画 ライブフォーラム

- 共催名義

- ・ イベント学会 第 27 回研究大会

2-5-8 トピックス

① ISO20121「イベントの持続可能性マネジメントシステム」改訂作業が終了

2024 年 4 月に発行された ISO20121 改訂版（英語）について、J A C E では日本語対訳版と併せて、関係者の理解促進を図るため巻末に解説文を作成、2024 年 12 月に日本規格協会より出版。日本語対訳版発行の報告として、最終の国内審議委員会を 2025 年 1 月 17 日に実施し、本委員会をもって、2023 年から始まった ISO20121 改訂作業は終了した。

現在、会員社への普及・啓発を目的として、ウェビナー等の施策を検討中。

② 「使いやすいサステナビリティガイドブック」完成

J A C E と大阪観光局が中心となり、日本国際博覧会協会、日本コンベンション協会、日本展示会協会、日本ディスプレイ業団体連合会を加えた業界 6 団体で制作していた、イベント業界共通で活用可能な「使いやすいサステナビリティガイドブック」が 2024 年 9 月に完成し、日本橋のコンgresクエアで記者会見&セミナーを開催した。

会場には約 150 人のマスコミ、業界関係者が出席、200 名近くがオンライン参加した。

③ 日本広告業協会（J A A A）主導による「広告業界における脱炭素化研究会」との連携

J A A A 主導による広告業界における脱炭素化研究会との定例会をスタートさせた。CO₂ 排出量の可視化基準の策定を目指して行く中で、イベント業界との情報の共有化を図る事を目的としている。広告業界とイベント業界が連携することにより、サステナビリティ活動がより業界や世の中に浸透する事を目指す。

【J A A A のゴールイメージ】

1. 算定基準のルール作り
2. 算定ツールの標準化
3. 算定ツールの普及・運用

【メンバー】

J A A A : 高品専務理事、池田常務理事、小田事務局長

電通 : 清水エグゼクティブディレクター、古田シニアディレクター

博報堂 : 中島室長、中溝ディレクター

J A C E : 津川、中尾、尼子